

竹久夢二と 大正ロマン展

～楽譜装画が語る～



竹久夢二 明治17年(1884)～昭和9年(1934)

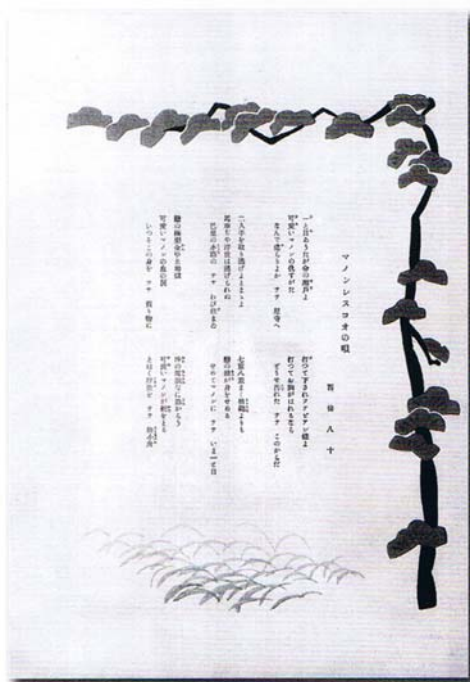


セノオ楽譜

妹尾幸陽が日本や外国の数々の名歌と名曲を紹介するために、大正4年に設立したのがセノオ出版社です。その出版社から大正から昭和にかけて出版されたピース物と呼ばれるのがセノオ楽譜です。この楽譜の表紙は竹久夢二のほか、杉浦非水、岡田九郎など当時の著名な画家によって描かれそのロマンチズムで評判になりました。

中山晋平作曲全集

中山晋平は、「しゃぼん玉」、「東京音頭」など当時の童謡から流行歌まで幅広く活躍し、昭和5年に楽譜代表作28点を山野楽器から木版画で300部発刊し、装画は竹久夢二、作詞は野口雨情ら11名が担当しました。



富士見町 高原のミュージアム

- 開館時間 ■ 午前9時30分～午後5時
 休館日 ■ 月曜日・祝日の翌日・年末年始
 入館料 ■ 一般 300円(200円)
 小・中学生 150円(100円)
 ※()内は20名以上の団体料金
 交通 ■ JR中央本線富士見駅下車徒歩3分
 中央自動車道諏訪南インターより約10分

